

【生ごみ処理機器モニターレポート Vol.13】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声を伝えていきます。



2人世帯向けモニターの3回目です。

写真は、そら豆の殻を処理したところ。処理前、処理後、そして砕いて量を減らした後です。

処理することで重さも体積も1/10になっていて、非常に驚いたそうです。

普段は、野菜類を生ごみ処理機で処理しているそうですが、乾燥させても形状が変わらないものは、量が減らないので処理しないようにしているそうです。

たしかに体積が変わらなければ、ごみ袋に入る量は変わりませんよね・・・。

実は、ごみの量は重量を基準としているので、水分がなくなるだけで減量になりますし、焼却処理する際の燃料が少なくて済むなど、様々な効果があります。

できる範囲でかまわないので、ごみの減容・減量化にご協力をお願いします。

【令和4年度生ごみ処理機器モニター事業について】

今年度、釧路市では生ごみ処理機器のモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp